

ブランドスローガンに込めた、私たちの思い

未来のエスキースを描く。

デッサンや建築の分野で使われる用語でもあるフランス語「エスキース(エスキス)」には、“構想を素描する”“素案をつくる”という意味があります。

東北の持続可能な“未来”の共創を使命に、地域社会に貢献できる人材を輩出。地域の皆さまと共に学び合い、直面する課題や将来の課題を見据え、自由な発想で解決策を描き、その実現に向けて挑み続ける大学へ。

私たち東北工業大学は、「未来のエスキースを描く。」のブランドスローガンのもと、東北のよりよい未来を描き、創り出すアイデアと技術を発信し続けます。



「ひろく学び、知をつなぐ」私たちの教育

3学部の「工学」「建築学」「ライフデザイン学」はどれも、くらしをより良くする学問。ひとつの専門性を突き詰めるだけでなく、幅広く学んで新しい視点を身につける「ひろく学び、知をつなぐ」教育を目指しています。ひろく学んだ知は多様な選択肢となり、知をつなぐ力で特に東北を中心とした地域社会に貢献します。



学部／課程・学科

■工学部

電気電子工学課程
情報通信工学課程
都市工学課程
環境応用化学課程

■建築学部

建築学科

■ライフデザイン学部

産業デザイン学科
生活デザイン学科
経営デザイン学科

大学院／専攻

■工学研究科

電気電子システム工学専攻
情報通信工学専攻
都市工学専攻
バイオ情報・応用化学専攻

■建築学研究科

建築学専攻

■ライフデザイン学研究科

デザイン工学専攻

連携・地域産業支援・セミナー・講座などのお問合せ

地域連携センター

東北工業大学の教育研究資源を活用しながら地域の皆さまと協働して地域社会の課題解決や活力創出に貢献しています。2025年に開設したサテライトキャンパス「テクロビ(TECH-LOBBY)」を拠点に講座の開講、地域産業の振興支援、産学官民連携事業にも取り組んでいます。

地域未来構築事業

講座事業
地域産業支援事業

地域連携・産学官民連携

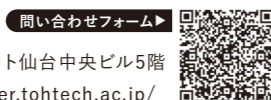
学生のまちづくり参画
児童館プログラミング
市民公開講座

テクロビ(TECH-LOBBY)

ギャラリー
講座事業
シンポジウム

〒980-0021

宮城県仙台市青葉区中央4-4-19 アーバンネット仙台中央ビル5階
TEL.022-266-5222 <https://www.rc-center.tohtech.ac.jp/>



連携・共同研究・受託研究・寄付金などのお問合せ

研究支援センター

東北SDGs研究実践拠点として5つのコア研究テーマ(①気候危機・対策技術②Society 5.0③防災・減災技術④医工学・健康福祉⑤地域・地場産業振興)に取り組んでいる他、学内シーズを結集し、異分野融合による21のプロジェクト研究所を設置しています。

東北SDGs研究実践拠点

東北SDGs研究
実践拠点の形成を推進

プロジェクト研究所

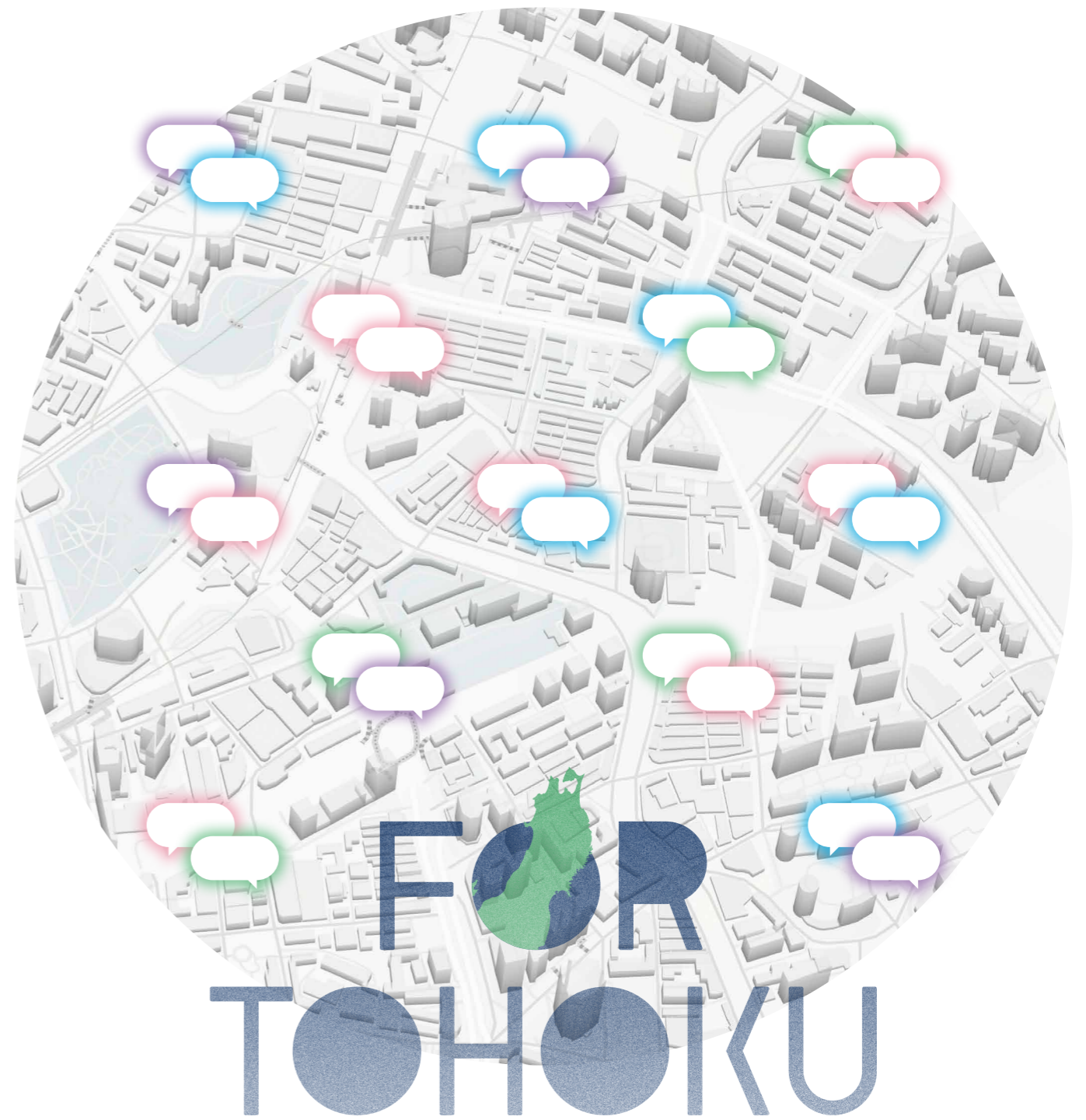
地域のニーズを
取り入れ産学連携による
社会実装を推進

産学連携

技術・研究開発等の
相談受付

〒982-8577

宮城県仙台市太白区八木山香澄町35-1(1号館1階)
TEL.022-305-3800 <https://www.rc-center.tohtech.ac.jp/>



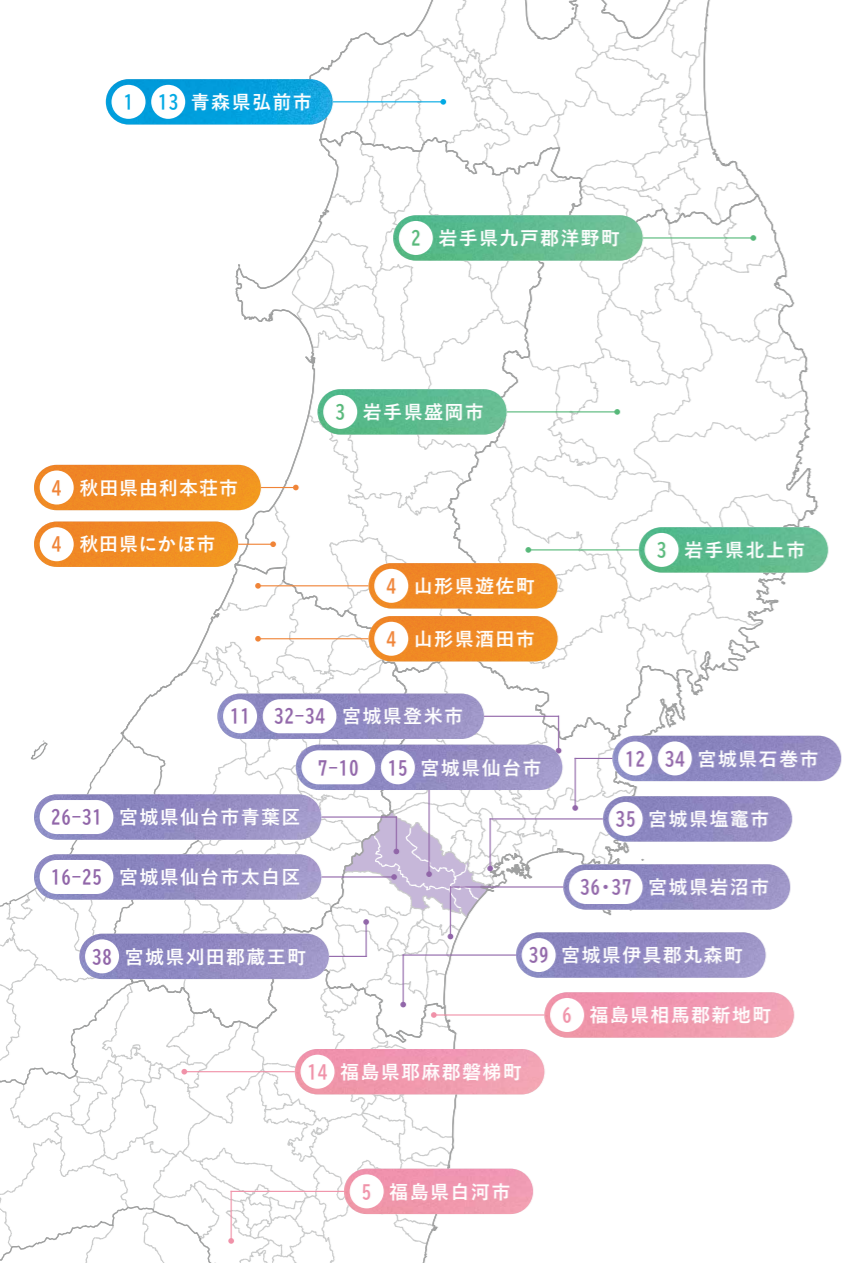
東北の地域社会とともに描く未来。
**地域共創アクション
2026**

未来のエスキースを描く。
東北工業大学

未来の エスキースを 描く。



確かな意志をカタチに。東北工業大学は、東北だからこそできる学びと研究を融合し、その成果によって“未来の社会をよりよくする”地域連携活動に力を入れています。



1 青森県弘前市 歴史的な町並みを継承しながら、地域の防災力を高める「文化財防災」の提言

建築学部 建築学科
中村 琢巳 教授 + 建築史研究室学生

弘前市仲町伝統的建造物群保存地区は江戸時代の町並み保存地区です。その文化的魅力を継承しつつ、地震・火災・雪害への防災力を高める計画提案に取り組みました。伝統的な防災の知恵の継承を考えるため、雪囲いの技術を学ぶワークショップも開催しました。



2 岩手県九戸郡洋野町 おおのキャンパスのこれからを共創

ライフデザイン学部 生活デザイン学科
伊藤 美由紀 准教授 + 共創育成研究室学生

緑豊かな高原に広がる「おおのキャンパス」は、建物の老朽化や来場者の減少など、いくつかの課題を抱えています。そこで、利用者や町民、従事者や生産者など関係する皆さまと一緒に、これからの「おおのキャンパス」のあるべき姿を考え、共創を進めています。



3 岩手県盛岡市北上市他 「キッズ向けさいがいMAP」を活用した防災教育

工学部 都市工学課程
小野 桂介 准教授 + 流域水工学研究室学生

3D都市データとゲームを組み合わせて作成した子ども向けのハザードマップを活用し、小中学校に対して防災出前講座を実施しています。これまで、国内外(岩手、宮城、福岡、フィリピンなど)で計3000名の児童生徒に対して防災の重要性を伝えてきました。



4 山形県秋田県 研究・教育・防災・観光によるジオパーク活動の推進

ライフデザイン学部 生活デザイン学科
岸本 誠司 教授

ジオパークを「大地の成り立ち」と「暮らしの知恵」をつなぐ学びの場と位置づけ、鳥海山・飛鳥地域との連携を継続しています。当研究室では研究・教育・防災・観光を横断し、地域資源を次世代へ継承するべく、学生たちが卒業研修に取り組んでいます。



- 13 公開武家住宅の案内看板を青森ヒバを活かしてデザイン(青森県弘前市)
- 14 磐梯町歴史的風致維持向上区域における修理修景のための歴史的建造物調査(福島県耶麻郡磐梯町)
- 15 学生SBL(仙台市地域防災リーダー)活動(宮城県仙台市)
- 16 東北建築フォーラム 中学生・高校生「未来のエスキースを描く」コンクール(宮城県仙台市太白区)
- 17 八木山地域を中心とする空き家等の実態調査(宮城県仙台市太白区)
- 18 ございん八木山プロジェクトによる地域課題解決に向けた居場所施策に関する共同実践研究(宮城県仙台市太白区)
- 19 仙台八木山防災連絡会(宮城県仙台市太白区)
- 20 八木山まちづくりプロジェクト(宮城県仙台市太白区)
- 21 太白区民まじりのロゴと広報ツールのデザイン(宮城県仙台市太白区)
- 22 高齢者の認知機能向上を目的とした参加型ヘルスケアアートの制作(特別養護老人ホーム大年寺山ジェントピア)(宮城県仙台市太白区)

5 福島県白河市 伝統建築の「かわら版」を制作し、復元工事が進む小峰城清水門の魅力を発信

建築学部 建築学科
中村 琢巳 教授 + 建築史研究室学生

福島県白河市で進められる小峰城清水門の復元工事。発掘調査や木材加工、上棟式などの建築工事の状況を、わかりやすくイラストで表現した「かわら版」を継続して制作しています。現場でのパネル掲示で、訪れた方々への情報発信に取り組んでいます。



6 福島県相馬郡新地町 バーチャル空間におけるミュージアムデザインと「バーチャル観海堂」

ライフデザイン学部 産業デザイン学科
堀江 政広 教授 + ユーザーエクスペリエンスデザイン研究室学生

東日本大震災で流失した福島県最古の共立学校「観海堂」(明治5年開校)を3Dモデリングで再現しました。バーチャルミュージアムの象徴として、バーチャル空間におけるアート展示拠点とし、歴史的価値の継承と新たな表現の創出を目指しています。



7 宮城県仙台市 子育て世帯を対象としたモビリティ・マネジメント(MM)施策の実践

工学部 都市工学課程
菊池 輝 教授 + 交通行動分析研究室学生

仙台市内の子育て世帯を対象に、バス利用を身近に感じてもらう態度変容を促すMMイベントを企画運営しました。バスの写真撮影会・クイズ大会・乗り方教室などを実施し、親子延べ139組328名が参加しました。事前事後のWEB調査で効果を把握しました。



8 宮城県仙台市 外国人のための街中誘導サインデザイン制作と実証実験

建築学部 建築学科
石井 敏 教授 + 福祉住環境デザイン研究室学生

仙台市はダイバーシティのまちづくりを推進しています。その一環として、外国人が区役所や主要建物まで適切に誘導するためのサインのデザインと制作、さらには実際に利用した外国人へのアンケート実施などの実証実験を研究室で担当しました。



- 23 わくわくドキドキ 親子プログラミング講座(向山児童館)(宮城県仙台市太白区)
- 24 「みんなで森をつくろう!」ワークショップ(富沢児童館)(宮城県仙台市太白区)
- 25 秋保地区のまちづくりにおける連携事業(宮城県仙台市太白区)
- 26 3D都市データを活用した小中学生向け防災教育コンテンツの開発(国土交通省東北地方整備局・仙台市環境局)(宮城県仙台市青葉区)
- 27 TOHOKU CRAFT 学生コラボプロジェクト(仙台筆協同組合)(宮城県仙台市青葉区)
- 28 「仙台七夕まつり」七夕飾り展(宮城県仙台市青葉区)
- 29 地域の魅力をデザインの視点で発信する映像提案(サンモール一番町・いろは横丁・文化横丁)(宮城県仙台市青葉区)
- 30 地域の魅力をデザインの視点で発信する映像とポスターの提案(本町商店街振興組合)(宮城県仙台市青葉区)
- 31 杜の都のクラフトフェア2024「クラフトまち散歩マップ」制作(宮城県仙台市青葉区)

9 宮城県仙台市 廃棄リチウムイオン二次電池の発火無効化技術の共同開発

工学部 電気電子工学課程
下位 法弘 教授

ゴミとして廃棄されたリチウムイオン二次電池による火災事故が全国で急増しています。そこで私達は仙台市環境整備公社の協力のもと、廃棄電池を安全に発火無効化する処理技術を開発しました。現在は、そのプロセスの実用化に向けた装置設計を促進しています。



10 宮城県仙台市 染め物の「らしさ」と工大の「らしさ」を体現する商品の開発

ライフデザイン学部 産業デザイン学科
坂川 侑希 講師 + ローカルデザイン研究室学生

株式会社永勤染工場と学生が連携し、それぞれの「らしさ」を体現するような新しい商品の開発に取り組みました。学生らがデザインした『端切れを活用したペットボトルホルダー』は実際に販売され、染め物の新たな需要創出に寄与できたと考えています。



11 宮城県登米市 国登録有形文化財・登米市大嶽山興福寺書院及び庫裏の耐震改修・継承事業

ライフデザイン学部 生活デザイン学科
大沼 正寛 教授

旧南方町の丘に、色ガラスなどの改修が大正・昭和に加わった明治期の近代建築が建っています。令和3・4年の2度の地震で傾いたため、耐震補強工事を進めつつ、稚児行列や精進料理の会などのフィールド調査を行い、文化遺産の継承方策を探求しています。



12 宮城県石巻市雄勝町 地域団体商標「雄勝石」のブランドマークのデザイン制作

ライフデザイン学部 産業デザイン学科
篠原 良太 教授

令和8年10月に「雄勝石」が特許庁の地域団体商標として登録されるのに合わせて、差別化や認知度向上を目的にブランドマークのデザインを行いました。雄勝石を使用した料理皿などの商品にデザインされたマークが刻印されています。



- 32 2020東京オリンピック返還木材活用デザイン試作品等製作(宮城県登米市)
- 33 「道の駅津山もくもくランド」リニューアルオープンに伴う店舗デザイン等の立案(宮城県登米市)
- 34 国選定保存技術石盤葺保持者の技術継承協力ならびに天然スレート建築の保全継承(宮城県登米市・石巻市)
- 35 塩竈市文化財保存活用地域計画調査専門部会における調査協力(宮城県塩竈市)
- 36 「岩沼みんなの家」活動紹介動画制作及びECサイト向け商品撮影(宮城県岩沼市)
- 37 「岩沼みんなの家」6次産業化商品ラベルデザイン(宮城県岩沼市)
- 38 プログラミング体験教室(永野小学校)(宮城県刈田郡蔵王町)
- 39 旧大張小を活かす丸森オープンアトリエ(宮城県伊具郡丸森町)